

# 石川県優良図書一覧

平成23年度に  
石川県がすすめた図書



## 小学生(中学年)

### アヤカシ薬局閉店セール

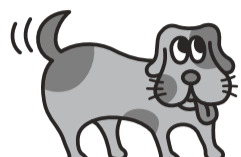
伊藤 充子 作 偕成社 1,050円  
いづの かじ 絵

並木通りのアヤカシ薬局は、さくらおばあさんが一人で行っています。しかし、この時世、大きなストアーにおされ、お客はだれもきません。そこで閉店セールをすることにします。ところがこのチラシをみて、不思議なお客が次々と…。読んだ後、心がうきうきする一冊。(1)

### 土手をかけおろよう!

あんず ゆき 文 文研出版 1,260円  
早川 司寿乃 画

主人公真希の愛犬ララが突然亡くなり、しかもそれは真希のせいという辛いシーンから始まる。そして、サヨさんと出会い、辛いことをそのままにしておかず、行動を起こしていくことで、何かが変わっていくことに気づかせてくれるお話です。(1)(2)(10)



### 世の中への扉 ゴミにすむ魚たち

大塚 幸彦 文・写真 講談社 1,470円

海岸から少し海にもぐれば、空き缶、空きビン、車のタイヤなど、人間のすてたゴミが点々としています。その中で、たくましく生きる生きものの姿があります。環境のことをむすくしく考える前に、まずはこの本を開いてみてください。そして、人間と海、魚、ゴミをつないでみてほしい。(2)(7)

### ポアンアンのおい

岡田 淳 作 偕成社 735円

さかだちをしてみると、今までとはちがったのが見えてきたり聞こえてきたりするものです。そんな見えないものや聞こえないものを聞いた話と陽子のお話です。シャボン玉の中に閉じ込められた陽子を何とかして救い出そうとする活。犬ガエルのポアンアンとの知恵比べ。逆立ちがとてつもないお話です。(1)(2)(4)(7)

### バレエをおどるいぬなんていない?

アンナ・クンプ 文 B L出版社 1,575円  
サラ・オキルグー 文 絵 訳  
かどの えいこ

読んでみると、心がほんわか優しくなります。じぶんのことを犬と想っていないピフとわたしの生活が、楽しい絵で展開していきます。何度も開いてみたくなる絵本です。(1)(2)

### 丘の木ものがたり

森山 京 作 講談社 1,365円  
ふくざわ ゆみこ 絵

きつねのコンチとぶたのトント、そして、その家族とくまのワニとウロロがくり広げる温かなお話。みんなが丘の上に立つカシの木を「丘の木」と呼び、みんなが会いにくことを楽しみにしている木。それぞれの「かさなうそ」をめぐる繰り広げられる温かな話。(1)(2)

## 小学生(中学年)～

### 犬どろぼう完全計画

バーバラ・オコーナー 文 文楽堂 1,575円  
三辺 律子 訳  
かみや しん 絵

アメリカに住む少女が、家族の生活のために犬を盗むことを思いつくが、次第にその計画も歯車が狂いはじめ…。アメリカの低所得層の生活が描かれ、物語からアメリカ社会の現状を知ることができる。(10)

### 星と宇宙のふしぎ 109

村山 定男 監修 偕成社 1,890円  
永田 美絵 著  
八坂 康彦 写真

美しい天文写真とともに、全国から集まった星や宇宙の疑問にNHKラジオ「夏休み子ども科学電話相談」の回答者が語りかけるように回答していきわたりやすく親しみやすい。(5)



### おとぎの“アリス”

ルイス・キャロル 文 ほるぷ出版 2,415円  
ジョン・テニエル 絵  
高山 宏 訳

幼い子どもが読みやすいよう、ルイス・キャロル自身が「ふしぎの国のアリス」をさらにやさしく書き直し、ジョン・テニエルが挿絵を拡大、彩色した新版オリジナルの絵本。語りかけるような口調で、本文にはルビが打たれ、小さい子どもでも読みやすい。(5)(6)(8)

## 小学生(高学年)

### 羊に名前をつけてしまった少年

樋口 かおり 著 ブロンズ新社 1,470円

農業高校に通っているエイジは、No.8と呼ばれる羊に「フブキ」と名前をつけてしまった。家畜はペットではない。食べられるために大きく育てられている。生まれた時から決められた命なのだ。分かってはいる。だけれど生きるとは、命とはなんなんだとエイジの葛藤が読者の葛藤にもなる一冊。(7)

### あの夏、ぼくらは秘密基地で

三輪 裕子 作 あかね書房 1,260円  
水上 みのり 絵

ケンはずいぶん、山登りが大好きである。夏休み、お父さんとついでにおじいちゃんとの遠征である山荘に行くことになる。そこでは山での避難、新しいおじさん出現など思いがけない出来事がある。わくわくしながらも切なくなる一冊である。(1)

### スカーレット わるいのはいつもわたし?

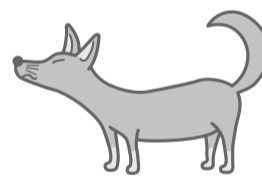
キャシー・キャンディー 文 偕成社 1,470円  
もりうち すみこ 訳  
大高 郁子 絵

「いつも悪いのは私」と思っているスカーレット。相手の言葉やしたことをしっかりと聞きながらも、自分の気持ちを抑えられない。その反面、だれかに抱きしめてほしいと願う自分がある。成長期に誰もが経験する心の葛藤と次第に心を素直にしていく成長を感じることができる一冊です。(1)(2)(4)(10)

### 盆まねき

富安 陽子 作 偕成社 1,050円  
高橋 和枝 絵

毎年夏になると、なっちゃんの家がおじいちゃん、おばあちゃん、おばあちゃん、おばあちゃんから聞いたふしぎな話と、なっちゃん自身がした本当に不思議な体験のお話です。(1)(2)



### カメレオンを飼いたい

松本 祐子 作 小峰書店 1,575円

カメレオンのように自分を周りの風景に隠してしまいたい主人公。できるだけ自立したように生きていこうとするのですが、自分の思いとは別に、周りがちよっかいをかけてきます。思わぬ展開が待っているカメレオン君。結末に向かってはらはらしながらも、人間の持つ寂しさと温かさ、出会いと別れを繰り返す人生について考えさせられてしまいます。(1)(4)(8)

### なぜ? どうして? 宇宙のお話

渡部 潤一 監修 学研 840円  
上原 香海 文  
ホネタス 絵

子供達に宇宙ってどうなっているの? と質問されると答えに窮してしまいます。でもこの1冊があればだいじょうぶです。「宇宙のなぜ」について分かりやすく説明されており、知的好奇心を満足させてくれ、手元にいつもおいておきたい一冊です。(5)

### 救命救急 攻めの医療で命を救え! フライドクター

岩貞 るみこ 作 講談社 1,365円

救命救急に携わる医師が、一秒でも早く患者を救いたいという願いから、「医師が現場へ向かう」ドクターヘリを飛ばす。そこで時間との戦いの中で、命をつなぐための熱い思いを持って取り組む医師達の挑戦を描いている。(1)(4)(9)

### ヒトの親指はエライ!

山本 省三 文 講談社 1,470円  
喜多村 武 絵

いつも使っている親指には、ものすごいパワーがあるのです。この力は、人間の進化とともに備わってきたのです。親指の進化なくして今の人間の姿はありえないのかもしれない。そんな親指は尊敬ささげたいくなる体の大事な部分です。愛しい親指くんです。(5)

### がんばっ! 卓球部

横沢 彰 作 新日本出版社 1,575円  
小松 良佳 絵

電卓卓球部は、市内大会では1回戦負けの弱「卓球部」です。でも、弱「卓球部」だった燃えるのです。純粋な心で、仲間を信じ、最後まであきらめない姿には神々しさを感じます。読み終わった後に心の奥がほっこりしてくる一冊です。(1)

### むこうがわ行きの切符

小浜 コリ 作 ポプラ社 1,365円  
石清水 さやか 絵

それぞれの主人公がひよんなことをきっかけに、過去や未来にタイムスリップして不思議な体験をする。今の友達、近くに住む父などとの未来や過去の出来事をつながっていく。主人公の気持ちに引き込まれてしまいます。(1)(8)(10)

石川県では、毎年みなさんの読書の手引きとして、優良図書のすすめをしています。平成23年度、石川県がすすめた63冊の図書を紹介します。たくさんのおみなさんがよい本と出会い、読書のよろこびやたのしさを少しでも知ることができればと思っています。下に記されている(1)～(10)は、これらの本をすすめた基準です。

- (1) 人としての愛情を豊かに育てるもの
- (2) 動物愛護等、自然に親しむ豊かな心を育てるもの
- (3) 郷土愛をかん養にするもの
- (4) 社会生活における良識、責任感及び倫理観念のかん養に役立つもの
- (5) 知識を高め、教養を深めるもの
- (6) 美に対する感覚を洗練し、情操を高めるもの
- (7) 観察力、思考力又は判断力を養うもの
- (8) 健全な娯楽作品として優れたもの
- (9) 社会参加活動への意欲を高めるもの
- (10) その他青少年の健全な心身の成長に役立つもの

## 小学生(中学年～高学年)

### 旅するウサギ

竹下 文子 作 小峰書店 1,470円  
大庭 賢哉 絵

少年の姿をしたウサギがいろいろな所へ旅に行きます。海、夢の町、水晶海岸など。それぞれの旅の中でいろいろな人やいろいろな風景、いろいろなできごととの出会いが待っています。自分が旅している気持ちにさせてくれる、さわやかなお話です。(1)(2)(8)

### 誕生! 小さな警察犬くう

あんず ゆき 文 文楽堂 1,365円

ベッドシーツをすぐに良いちぎるウサギのくうはダメ犬と思われています。それに大きな声でほえたり、かんだりします。思いあまって家族は警察犬訓練所に入れることにします。しつけをしてもらうために訓練所に預けたのですが、その結果は!? 子どもたちはウサギの成長を楽しみながら読み進めることができます。(2)(5)(9)

### おじいちゃんが、わすれても…

大塚 篤子 作 ポプラ社 1,365円  
こころ 美保子 絵

大好きなおじいちゃんがかわっていく。テニスクラブに所属している活発な少女には元お医者さんだった祖父がいます。でも、認知症となり、徘徊したりするようになります。家族とは、生きるとは、いろいろなことを考えさせてくれるお話です。(1)(4)(9)

### ロンとクノチの木

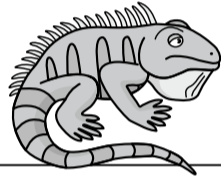
小原 麻由美 作 PHP研究所 1,365円  
ラウラ・スタニョ 絵

仲間じゃないからと言って追い出されることのない世界。家族や兄弟姉妹、友だちのために優しい気持ちで分け与えることの大切さを、クノチの木になった母やロンから学ぶことの出来る作品である。(1)

### カメレオンのレオン

岡田 淳 作 偕成社 1,050円

プールにくじらが泳ぐのってあり? そんなふうにはびっこりしているところから「ケケケ」という笑い声が聞こえてきます。その正体は? 読者は桜葉小学校に起きるへんてこなできごとと正体を、探偵になっていくことでもよいでしょう。(1)(8)



### スーパーキッズ

佐藤 まどか 作 講談社 1,365円

他のことはダメだけど、音楽だけは自信がある日本人のボク。他にも美術や走りなど一芸に秀でた子どもたちが世界中から集められた。そこは地中海に浮かぶジャンヌマートル島の学校。自動翻訳機があるから何をしゃべっているか分かるけど、みんな変わったやつばかり。でも、とんでもない事件に巻き込まれてしまいます。この本を読む子どもたちははらはらどきどきしながら登場人物と一緒に事件を解決しようとするでしょう。(1)(4)(8)

### 戦争を取材する

山本 美香 作 講談社 1,260円

154センチメートルの小柄で陽気なもともと強くない女性の著者がジャーナリストとして世界の戦場を駆けめぐるのはなぜか? 本書を読むことで、子どもたちも戦争の真実をたくさん知ることが出来ます。思春期を去った文藝は、自分たちが世界から忘れられた存在だと思ってしまうが、ビデオカメラを向ける著者に驚き、感謝の声をかけます。本書を読むことで世界を良い方向に進めるにはどうしたら良いのかを考えることができます。(1)(4)(7)(9)

### クマのあたりまえ

魚住 直子 作 ポプラ社 1,365円  
植田 真 絵

ライオンやクマやチドリなどの生きものが主人公の7つの物語。生きものたちは人間たちと同じように悩んだり、生きることの意味を考えたりします。7つの生きものたちがせつなさと温かさや苦しみと希望を持ちながら生きることに、子どもたちもきっと共感しながら読んでいくことでしょう。(1)(2)(4)(9)

## 小学生(高学年)～

### まぼろしの大陸へ 白瀬中尉南極探検物語

池田 まき子 著 岩崎書店 1,365円

時代は違うが、白瀬中尉の生き方から、未知のものに好奇心を持って挑戦する「探検する心」を次代にならざるもたにも持って欲しい。(10)

## 小学生(高学年)～中学生

### ミンティたちの森のかくれ家

キャロル・ライリー・プリック 文 文楽堂 1,680円  
谷口 由美子 訳  
中村 悦子 絵

世界大恐慌が始まった1930年のアメリカ。母をなくし、遠くに住む伯母をたよって行く、10代の少女ミンティとその家族の物語です。道中、車がパンクし、修理できないままそこで見つけた無人の家をかくれ家として、ひと冬をすごします。四季の移り変わりが繊細な筆致で描かれ、次々と起こる事件の中で、家族の在り方や絆について深く考えさせられる作品です。(1)(2)(4)

## 小学生(高学年)～高校生

### 千年の森をこえて

キャシー・アップルト 文 あすなろ書房 1,890円  
片岡 のぶ 訳  
デイビッド・スモール 絵

深い森の中でマムシの妻は、かめの中に押し込まれたまま千年の時を過ごしていた。その森に迷い込んだ一匹の捨てネコと老犬との運命が展開します。まるで神話か伝説のような家族の絆をめぐれる物語です。(1)(2)(6)



## 中学生～

### ヒトラー・ユーゲントの若者たち 愛国心の名のもとに

S.C.バートレット 文 あすなろ書房 1,365円  
林 康一 訳

ヒトラーに洗脳された若者たちの痛ましい話。二年にわたる調査とインタビューと思索の結果、生まれたこのドキュメンタリーは、次の世代への警鐘として十代の少年少女に読んでほしい作品。(4)(10)

### 隠れ家 アンネ・フランクと過ごした少年

シャロン・ドガー 文 岩崎書店 1,575円  
野沢 佳織 訳

1947年に刊行されて以来、世界中で読み継がれてきた「アンネの日記」。この小説は、アンネと一緒に隠れていた少年ベーターの視点から書かれています。不自由で緊迫した状況ながら人間的な愛情を持つこともできた第1部「隠れ家」から、極限まで追いつめられる第2部「強制収容所」へと続きます。若い読者は、歴史を風化させず次の世代へ語り継ぎたいという作者の思いを、素直に受け止められることでしょう。(1)(5)(7)